

恵那市教育委員会における教科書採択に係る議事録

日時：令和5年7月27日（木）

場所：恵那市役所西庁舎4階会議室

事務局：お手元に今回の関係資料がありますので、ご確認いただきながら、説明・質疑をお願いします。

今回選定の対象になった教科書は、教科によって多いものでは、6～7者あります。東濃地区採択地区協議会で話題になった点に絞り、実際の教科書を見ていただき、説明をしたいと思います。

教育長：東濃採択地区協議会では、研究員が事前に調査研究を行っています。調査研究の中で協議会で説明されたことを中心に説明します。

<国語>

事務局：どの教科書も読むことに関して着眼点がわかりやすく示されている。学習のステップに関して、対話モデルの例示は、地区協議会で決定された発行者が一番充実している。東濃地区は若い教員が多いという現状がある。このモデルを参考にすれば、教員の経験年数に関わらず授業が進めやすい。

教育長：教科書に書き込めるという点でも、地区協議会で決定された発行者が良い。

事務局：書写についても、選定された理由は、ねらい、進め方、評価が端的に示されており、学習が日常生活につながっている。

委員：教材について、学級づくりの観点から、この教材をこの時期に読ませたいという意図も教員はもつのではないか。そのあたりの話はあったのか。

事務局：確かな調査研究は行われているが、話題にはなっていない。

教育長：二次元コードで筆の運び方の動画もある。

<社会>

事務局：地区協議会の結論は東京書籍になった。理由の一つが、海津市、中津川市、下呂市等県内に取り上げられているということである。二次元コードについても話題になった。社会は昔、カラーコピーで資料を配っていたが、二次元コードで見えるのは、そうした金銭的な面でもメリットがある。

教育長：東京書籍は、資料が見開きの部分があって見やすいという話もあった。

委員：社会科の教科書の選定にあたって、地域性のことは考慮されているのか。

事務局：各地域の特色とともに、特徴的な地域の例として岐阜県がとらえられている教科書もある。

事務局：地図は教科書とは違う発行者の選定となった。地図記号や色目、文字の大きさ等が地区協議会では説明され、帝国書院が良いという話になった。

教育長：帝国書院は巻末の資料も充実している。

<算数>

事務局：学習のめあてやまとめ、算数的な見方・考え方について、児童が考える余地を残しながら学ぶ楽しさを味合わせたいということが地区協議会で研究員より説明された。

教育長：大日本図書は一つ一つ丁寧にヒントを与えているのに対し、東京書籍はヒントを与えず考えさせるという傾向がある。

<理科>

事務局：地区協議会では、上位2者の中から東京書籍が選定された。他教科や日常生活、キャリア教育との関連性、考察の書き方、二次元コードにある話合いの例などが選定の理由となった。

委員：昔はイラストでごまかしていたが、今は写真も大きくて見やすい。選定された発行者のものは、特に意識されている。

<生活>

事務局：東京書籍が選定された。巻末で授業の中で必要な見方をイラストでまとめてある。二次元コードの内容もわかりやすい。

委員：生活科は学習して楽しいことが大切である。学習の自立という面から、勉強して楽しい、面白いというのがあるとよい。

委員：一冊を1年間使用するのか。

教育長：1、2年生で上下になっている。

委員：昔は生活科はなかったが、どう今後の学習につながるのか。

事務局：小学校の低学年で生活科を学ぶが、その学習は3年生以降の理科や社会の学習につながっていく。

<音楽>

事務局：色の工夫があって視野に入りやすく、児童が等しく学習しやすい等の理由から、教育芸術社が選定された。

委員：教育芸術社が発行しているのは音楽の教科書のみか。

教育長：その通りである。

委員：二次元コードから音楽を聴いてみたが、目と耳で確認できる。便利である。

<図画工作>

事務局：日本文教出版が地区協議会で選定された。道具の準備が具体的に示されていて、経験年数に関わらず授業を進めていきやすいという話があった。

委員：今例で見ている教科書は3、4年で使うものか。

事務局：そうである。

<家庭>

事務局：開隆堂が選定された。作成する袋について、学習時期の配慮がされている。系統的・発展的なまとめもある。サーモグラフィも取り上げられている。左右両方の利き手へ配慮した写真もある。

委員：開隆堂は実寸大で示されているのがよい。SDGsについても最初に触れている点が良い。

委員：右利きだけでなく、左利きの箸の持ち方の写真も掲載されている点が良い。左利きに対応した色々な道具ができていることが背景にあると思う。

<保健>

事務局：東京書籍が地区協議会で選定された。巻頭で時系列の目次があり、導入で学習の見通しがもちやすいという話があった。

委員：これも2年間使うのか。

委員：一冊を2年間も使うのは配当授業時数が少ないからなのだろう。教科書を見ると、保健なので命にかかわることが取り上げられている。

<英語>

事務局：東京書籍が地区協議会で選定された。児童の習熟度によって二次元コードを選択できる工夫がある。動画・チャンツは児童の興味をひく。自分の習熟度に合わせた学習ができるのがよいという話があった。

委員：二次元コードの読み方も慣れないといけない。いっぱいある感じである。

委員：この教科書を使って学習をすると、みんな英語はペラペラになるか。

教育長：それは難しい。

委員：英語のテストは小学校もあるのか。

教育長：5，6年生では、市販の業者のテストを使うことが多い。

委員：教科である以上、成績はつけるのか。

委員：昔は書くことから始めたが、学習の面では、聞くことが大切。

<道徳>

事務局：光村図書が地区協議会で選定された。学習の進め方が模擬授業の形式で示されている。話合いの進め方のポイントが示されていて、経験年数の少ない教員が多いという東濃地区の状況にもあっている。

委員：模擬授業のところが二段組みで見やすい。

委員：道徳も教科になった。年間35時間という授業時数の中で扱うのか。

教育長：教科書によっては35点以上の題材を取り上げ、差し替え可能になっているものもあった。

委員：学級経営も色々考えながら取り組まなければならないので、時期を考え差し替えることも必要であると思う。道徳にも二次元コードはあるのか。

事務局：あるので試してほしい。

委員：比較的長い資料もある。読んで終わってしまうこともあるのではないか。

事務局：昔ながらの資料もあるが、時代にそぐわないものはなくなってきている。一方で、スポーツなど現在活躍する選手の資料もあるが、例えば、野球選手を取り上げていても、ルールを知らない子どももいるので、説明すると終わってしまうこともある。

委員：あんまりくどくど説明しないほうが良いと考える。

委員：資料が長い場合、家で読んでくるという方法もある。

事務局：二次元コードを活用すれば、音読もしてくれる。

委員：国語と違い、読む力を高めることが目的ではないので二次元コードを活用してもいいと思う。

教育長：以上で、教科書採択に係る説明と質疑を終わりますが、よろしいでしょうか。

委員：(全員) よい。

教育長：それでは、採決に移ります。恵那市の採決については、令和6年度小学校において使う教科書は、東濃採択地区協議会において選定された教科書を使うということでよろしいでしょうか。

委員：(全員) 異議なし。

教育長：再度確認します。議案第26号の採決です。異議ありませんか。

委員：(全員) 異議なし。

教育長：なお、中学校については、法令に基づき、来年度使用の教科書は、現行使用の教科書と同一のものになります。